

## 【フィリピン 報告書 2012年8月20日～8月29日】

2012年8月上旬

台風9号(サオラー)の影響でフィリピンの一部の地区では多大なる洪水の被害が出ました。



2012年8月20日(月)

緊急支援で、現地へ向かいます。

13:00 フィリピン到着



日本のお菓子和Tシャツをスーツケースに詰め込んで持って行きました。



14:00 Pasay(パサイ)市の事務所にてミーティング

現地スタッフと現地で活躍されている医師の先生との打ち合わせ。



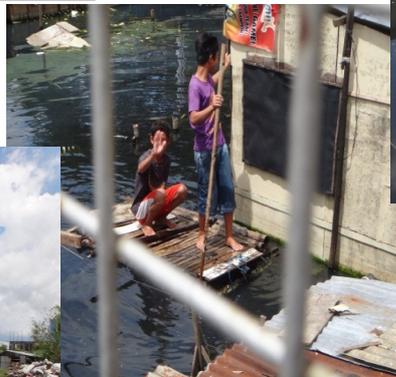
2012年8月21日(火) 保健調査  
 10:00 Bayanan Basketball Court 避難所  
 (バヤナン バスケットボールコート)



カビ、腹痛、喘息、結膜炎・・・  
 様々な症状を訴える住民の方々・・・

「お医者さんに診てもらったのは生まれて初めて」  
 そう言って涙を流す方がいました。

12:00 Cupang 野外 避難所  
 (クーパン)



木もない、屋根もない、電気もない、  
 配給もない・・・

そういった劣悪な環境で  
 過ごしている人達もいます。

13:00 お米調達



米の市場調査を行います。  
実際に手に取り、お米の匂い・質を確かめます。



フィリピン人にとってお米は主食です。

「ただ、安いお米ではなく、買った人が  
“嬉しいな”食べて“美味しいな”そう思える  
質の良いお米を安くたくさん買おう」

現地の方に教えてもらった言葉です。

当初、安さにばかりこだわっていた私達。

大切なことを忘れかけていました。



2012年8月22日(水)

9:00 Bayanan Elementary School-Main 避難所  
(バヤナナン エレメンタリースクール メイン)



避難所の住民の方の声に一つ一つ耳を傾ける  
広島文化学園 看護学部  
講師の大竹氏。

11:00 Muntinlupa(モンテンルパ)市役所 訪問

モンテンルパ市役所にて、市長と対談。  
物資配布の協力をして頂くようお願いしました。



13:00 Bayanan Health Center-Main 前 避難所  
(バヤナナン ヘルスセンター メイン)



ヘルスセンターが近くにある避難所です。

しかし、電気も配給もない環境でした。

飲料水は、井戸水にタブレットを入れて使用しているとのこと。

しかし井戸を覗くと中は、ドロドロでした。



2012年8月23日(木)  
6:00 食糧詰め作業



9:00 支援物資 調達



支援物資を一つでも多く、安く買う為に  
倉庫・問屋・露店を回りました。

袋詰めは早朝から、夜中まで続きます。

2012年8月24日(金)  
6:00 コーンビーフ缶 工場



「朝6:00に出発しよう！」  
そう言って協力してくれたのは、  
ドライバーのダニーでした。



ダニーのおかげで、コーンビーフ工場にて  
直接交渉。  
たくさんのコーンビーフ缶を仕入れ  
ることが出来ました。

11:00 チャイナタウンへ



安く丈夫な防水シートを求めて  
チャイナタウンへ向かいます。

仕入れ先のご主人と電卓を片手に値  
段交渉中のスタッフ。



根気強くやりとりすること10分・・・  
「仕方ない、その値段で手を打とう・・・」  
やった！交渉成立です。

2012年8月25日(土)

8:00 前日準備 積み込み作業に追われます...



事務所は、支援物資の山で埋もれました。

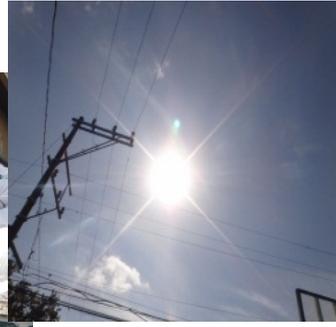


支援物資セット  
・お水  
・お米  
・コーンビーフ缶  
・イワシ缶  
・ラーメン



支援物資子どもセット  
・脱脂粉乳  
・ジュース  
・お菓子

2012年8月26日(日)  
9:00 物資配布  
・Putatan(プタータン)地区



支援物資を貰う為に、長時間、水に浸かりながら  
待っている人達の姿に胸が締め付けられます。





小さな子どもが“サラーマボ”  
(ありがとうございます)と言って  
重たい支援物資を運んで帰ります。



11:00 物資配布  
Tunasan(トゥナサン)地区



家で寝たきりのご高齢の方は、支援物資を取りに来れません。

スタッフと避難所の住民とで調整をとって、代わりに貰い、届けました。



13:00 支援物資配布  
・ Sucat (スカット)地区



缶詰たった1缶を貰うために、形相を変えて必死に手を伸ばす子どもたち。

一つでも多く安く食糧調達することの重さを身に染みて感じます。



2012年8月27日(月)  
9:00 支援物資配布  
・Cupang(クーバン)地区



支援物資をもらって住民に笑顔が溢れます。

人ごみの熱気でカメラのレンズが曇りました。

警察・警備員・スタッフで事故が起きないように  
交通整理に努めました。



11:00 支援物資配布  
Bayanan Basketball Court 避難所  
(バヤナン バスケットボールコート)



この避難所は、とても統制がとれています。  
支援物資を取りにくる順番は、グループごとでした。

「私達は11グループよ」と言って、  
手作りプレートを作って、今日の支援物資配布を  
とても楽しみにされている方がいました。



東北の方が折って下さった折鶴。  
200羽を届けました。

13:00 支援物資配布

Bayanan Elementary School-Main 避難所  
(バヤナナン エレメンタリースクール メイン)



おやつ(メリエンダー)を食べる時間は、彼らにとって  
一日の中で幸福を感じる大切な時間です。

一時の幸せかもしれませんが、それが彼らにとって  
大きな幸せだということを学びました。



2012年8月28日(火)  
フィリピンの子どもたち



2012年8月29日(木)  
11:00 空港 出発



フィリピンという国を知れば  
知るほど、深刻な問題が  
溢れてきます。

洪水被害だけではない、

貧困・病気・不透明な  
政府・・・

日本がどれほど  
恵まれているかを実感します。

私達に一体何が出来るのか。

彼らにとって本当の意味での支  
援とは。

ただ、ただ、  
考えさせられます。

